

# 図書館へ行こう！

教育実習が始まり、実習生の先生方が2～3週間の日程で学院に来られています。せっかくの機会ですから、実習の先生方と本について話をしてみましょう。きっと、いろいろな読書体験について語ってくださることと思います。

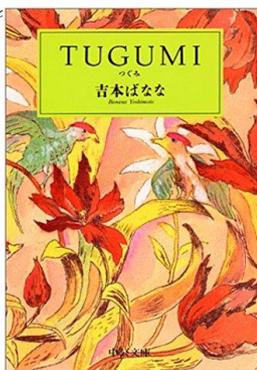
## 先生方おすすめの1冊

理科 井上誠一郎先生のおすすめ

### 吉本ばなな著『TUGUMI』

本校の図書館に蔵書があるかどうか、いまさら購入できるかどうかさえわからないほど古い作品のご紹介です。（注：図書館には3冊所蔵しています。）

図書係さんからおすすめの本の依頼を受けたとき、いつも勧めてほしい本のジャンルを聞いています。今回は『青春』。私にとっての青春は20年



前から1989年の小説になってしまいました。

病弱な一方で気が強く、ちょっと不思議な高校生・つぐみとつぐみが好意を寄せる恭一との暖かく儂い青春のひとときをつぐみの従姉妹・まりあの視点で語った小説です。30年ほど前の作品ですが、今読み返してみても色あせない甘酸っぱさや切なさの詰まったこの作品。高校生だった私は暗唱できるほど読み込み、映画化された作品

はビデオテープが擦り切れるほど見返しました。（時代を感じるでしょう？）

また、私の思う唯一の『実写(映画)が小説を越えた作品』です。

この作品は、英語をはじめいくつもの外国語訳が出版され世界的にも知られているだけでなく、なんと私の翌年のセンター試験では現代文の問題として出題されました。（満点取る自信あります!!）

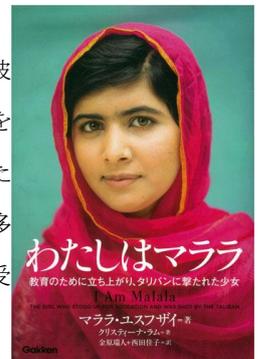
世代を超えた今の若者が読んでも伝わる素晴らしい作品だと思います。お父さん・お母さんも懐かしく感じるのではないのでしょうか。ぜひ、家族みんな

英語科 森戸真吾先生のおすすめ

### マララ・ユスフザイ著 『わたしはマララ: 教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』

中学生の皆さんもマララ・ユスフザイさんを知っていると思います。2014年のノーベル平和賞受賞者である彼女は、銃で撃たれて、重体になりました。

その理由とは、中学生であった彼女が、女性が教育を受ける権利を主張するなどの平和活動を行ったからでした。イスラム過激派の多い、パキスタンでは女性が教育を受けることを好まない人たちがいて、彼女を黙らせるために銃で彼女を撃ったのです。



日本では教育を受けることは当たり前のことのように思われていますが、世界の多くの地域ではまだ教育を受けることは当たり前ではありません。

この本を通して、マララさんの戦いについて学んでみてはどうでしょうか。

「おすすめ」で紹介した本は、すべて学院図書館で利用できます。ご協力くださっている先生方に、図書委員一同感謝申し上げます。

↓この記事は2018.05.05 読売新聞のコラムです。

『かがみの孤城』『ワンダー』ともに所蔵。ご利用ください。